

国語A 主として知識	内容および観点別の分析	
観点	到達度	課題点
国語への 関心・意欲・態度	おおむね満足	自分の考えを文に表して記述する問題は、1割の児童が無答であり、少数ではあるが意欲が低い。
聞く・話す能力	おおむね満足	話し合い活動を、さまざまな学習場面に取り入れていく。
書く能力	満足できる	はがきの書き方は課題が残る。日常生活で取り入れていきたい。
読む能力	おおむね満足	読書量を増やす工夫をし、文学作品にふれる機会を多くしていく必要がある。
言語についての 知識・理解・能力	おおむね満足	他の設問の正答率に比べ、ローマ字の読み書きの正答率が低い。授業以外でも慣れ親しむ活動を取り入れていく。
【考察】	どの観点も都・全国の平均点を上回った。全体的に国語への関心・意欲は高いと言える。漢字の読み書きや説明文の読解など学習成果が直接表れるものについては積極的に取り組んでいる。	
【改善策】	<ul style="list-style-type: none"> ・読む能力や言語についての知識・理解・技術を高めるために、読書を推進する。 ・実物や具体物を示したり、いろいろな経験を積みさせることにより語彙を増やす。 	

国語B 主として活用	内容および観点別の分析	
観点	到達度	課題点
国語への 関心意欲態度	都・全国の平均を上回ったが他の観点に比べ、正答率が低い。	調べてわかったことや自分の考えを書くことへの意欲が低い。学習の中に書く活動を取り入れていく。
聞く・話す能力	おおむね満足	目的や意図が伝わるように、工夫しながら話す活動を取り入れていく。
書く能力	市・全国の平均を上回ったが他の観点に比べ、正答率が低い。	折にふれ、調べてわかったことをまとめたり、自分の意見を書く活動をふやす。
読む能力	おおむね満足	説明文の内容を読み取り、要約する学習をふやしていく。
言語	おおむね満足	話の組み立てを工夫しながら説明する活動を取り入れていく。
【考察】	どの観点も都・全国平均を上回った。自分の考えをまとめ、表現する意欲が低い。日常生活の中でも自分の考えを書く・発表するという経験が少ないと思われる。	
【改善策】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や帰りの会などの時間を使い、新聞やHPなどの資料を活用したスピーチの場面を設定する。 ・他教科の学習の中でも「書く力」や「読む力」を育てていく。 	

算数A 主として知識	内容および領域別の分析	
領域	到達度	課題点
数と計算	おおむね満足	数直線から数を読みとること、四捨五入して概数で表すことを復習させる。
量と測定	おおむね満足	分度器のメモリの読み方を習熟させるために、活動を多く取り入れ、個別の指導・教師による確認を取り入れる。
図形	満足できる。	図形の性質についての理解は定着していた。
数量関係	おおむね満足	四則の順序を復習させる。
【考察】	<ul style="list-style-type: none"> ・正答率はこの領域も都・全国の平均を上回った。全体的には授業内容はよく理解できていて、知識も定着している。 ・基礎的な内容については、学年・学期・単元を超えて、くり返し指導し、定着をはかる必要がある。 	
【改善策】	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生からは少人数・習熟度別授業の良さを生かし、そのコースに適した授業プランを工夫し、基礎基本の定着をはかる。 ・実物や具体物を示したり、いろいろな経験を積みさせる。 	

算数B 主として活用	内容および領域別の分析	
領域	到達度	課題点
数と計算	おおむね満足	情報を整理・選択し、筋道を立てて考え、自分の言葉で表現する力を育てていく。
量と測定	おおむね満足	筋道を立てて考える問題に多く取り組ませる。
図形	おおむね満足	示された解決方法を理解し、別の解決方法を考え記述する力を育てる。
数量関係	都・全国の平均を上回ったが他の観点に比べ、正答率が低い。	判断したことの理由を記述する力が弱い。ほかの問題に比べ、無解答率が高い。
【考察】	<ul style="list-style-type: none"> ・正答率はこの領域も都・全国の平均を上回った。 ・数学的な考え方を支える文章を読みとる力や場面を創造する力をのばすこと、それらを補う粘り強さやあきらめない気持ちを育てる必要がある。 	
【改善策】	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文を一読してわからなかった場合にいきなり、整理する・図に表すなどの技法を用いて取り組む練習をする。 ・問題の解き方に対する自分の考えを発表したり文章にまとめる・友達の考えと比べる習慣をつける。 	